

新型コロナウイルス感染症拡大防止マニュアル(R2 会長杯)

【はじめに】

バスケットボール競技は室内競技であるため、新型コロナウイルス感染のリスクがあるスポーツです。大会会場における局所的に人が集まる場面と、大会会場までの移動場面は感染のリスクが高くなります。このウイルスの感染経路は飛沫感染と接触感染の2つですが、感染していても無症状の期間があり、自覚無く他人に感染させてしまうことと、ヒトの身体を離れても条件によって数日は感染性を有していることがあり、誰もが知らない間にウイルスを運んでしまう危険性があります。誰かがウイルスを大会会場に持ち込み、大会がクラスターになることは絶対に避けなければなりません。

感染拡大を防ぎつつ大会を開催するためには、ウイルスの感染経路を理解した上で、大会に集う全ての人に協力を求めることと、丁寧に各局面の準備を行うことが大切です。安心して大会が行うことができるよう、下記ガイドラインに沿って各チームのご理解、ご協力をお願い申し上げます。

【基本的な考え方】

- ◆長崎県やJBAによる新型コロナウイルス感染症対策本部の決定に従うこととし、随時見直しをする。
- ◆参加者の活動実績の把握に努め、感染が発生した場合、迅速に濃厚接触者が特定できるようにする。
- ◆ガイドラインに記載されている内容について、参加者全員が情報を共有し、感染防止に努める。

【参加者の感染症防止対策・参加条件】

※番号は別添資料番号①～⑤

生徒・指導者：①参加同意書 ②健康観察記録表 ③チーム健康観察記録表 の提出

保護者：①参加(観戦)同意書 ④保護者観覧者名簿 の提出⑤ADカード着用(体育館内入場のため)

体育館内が密にならないよう、基本的には試合中のチーム関係者(選手・部員・指導者・観戦者)しか体育館内には入れないものとする。2日目以降の観戦のみでの来場はお控えください。

【参加生徒への具体的な留意事項】

- 普段から密閉・密集・密接を避け、手洗い・うがい・咳エチケットに気を付け健康管理に努める。
- 活動前後や移動・応援の際などには、マスクを着用し、こまめに手洗い及び消毒液による手指の消毒を行うこと。移動は基本的には自家用車で行う。
- 更衣室等を利用する際は、交代で使用するなど、一度に多数のメンバーが着替え等を行わない。更衣室の換気についても留意する。
- 飲料は、各個人専用として利用すること。(他と共有しない)
- 水分補給の際は、周囲となるべく距離を取り、体面を避け、会話は控えめにすること。
- 飲み残したペットボトル等のドリンクは持ち帰ること。
- 観戦にあたっては密な状態とならないよう配慮し、大声での応援は控えること。
- 大会前後2週間の出向いた場所、同行者について可能な範囲で記録しておくこと。

【観戦者への対応】

- マスクを着用し、密閉・密集・密接を避け、こまめな手洗い・うがい・咳エチケットに気をつける。
- 移動手段については自家用車での輸送をお願いする。
- 以下の事項に該当する場合は来場しないこと。
 - ・体調がすぐれない場合(発熱・咳・咽頭痛・倦怠感・味覚異常・臭覚異常等の症状がある等)
 - ・同居家族や身近な知人に感染が疑われる方がいる場合
 - ・基礎疾患のある方(肺疾患・心疾患・高血圧・糖尿病等)
- 応援時はハイタッチ等の濃厚接触は自粛し、マスクを着用したうえで、2メートル以上の距離を保って観戦すること。
- 大会終了後2週間以内に新型コロナウイルス感染症を発症した場合は、速やかに主催者に対し濃厚接触者の有無等について報告すること。